

私たち「乳歯保存ネットワーク」は、 2017年2月2日に**非営利未来型**の「株式会社はは」を設立しました

福島第一原子力発電所事故が、自然・生活環境にまき散らした人工放射性物質、それは今も日々、世界の海洋・大気圏に流出し続けています。

私たちは、この厳然たる現実から子どもたちのいのちと健康を守りたい、子どもたちを病気から守りたいと、「乳歯保存ネットワーク」を立ち上げ、この一年半余り歩んできました。

福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散によって懸念されることは、外部被曝はもとより内部被曝です。内部被曝の最適な指標として、乳歯に含まれるストロンチウム-90を選択しました。私たち自身の測定データをもとに、科学的な根拠を示すことによって、子どもたちのいのちと健康を守り、病気の予防に役立てることを目指します。

私たちは今、乳歯の測定ができるように準備中です。

みなさんが保存し、提供してくださった、一人ひとりの乳歯に含まれるストロンチウム-90を測定できるようにし、次の世代に役立つ情報を研究・公表していくために、非営利未来型の「株式会社はは(HaHa, Inc.)」(略称「はは」)を設立しました。「はは」の株主配当は、子どもの笑顔=子どもの未来”です。

ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

事業の目的：

- (1) 乳歯を保存する。
- (2) 乳歯のストロンチウム-90を測定する（無料）。
- (3) 測定記録を保存・整理・解析する。
- (4) 科学的なデータを正確に評価し、内部被曝の実態を明らかにする。
- (5) 国・自治体へ、目的達成のためのより広範な調査と施策等を提言する。

2017年3月

未来型非営利 株式会社 はは
取締役 松井英介 (代表)
取締役 市原千博
大沼章子
星野 香
所 源亮
藤野健正
伊藤久司
監査役 寺尾 宏

E-mail:haha@ccn.aitai.ne.jp

乳歯保存ネットワーク
HP:http://pdmn311.jimdo.com
E-mail:pdmn311@gmail.com



私たち「乳歯保存ネットワーク」は、
 2017年2月 非営利未来型の「株式会社はは」を設立しました。
 子どもたちのいのちと健康を守るために、みなさんが保存し、
 「乳歯保存ネットワーク」に提供して下さった歯を、測定・解析し、
 生かす会社です。
 今年は測定所開設を目指し、歩みます。ご支援ください。

◆ストロンチウム-90 (Sr-90) 測定の歴史と乳歯保存

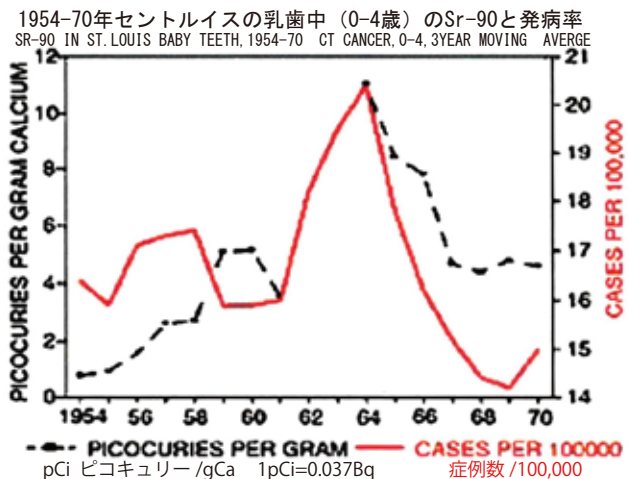
2011年3月11日の東京電力福島第一原子力発電所事故による大惨事は、人工放射性物質を放出し、大気・土・地下水・海など、地球規模で自然環境を汚染しました。破損した格納容器に流れ込む大量の地下水は、今なお、溶け落ちた核燃料を洗い、高濃度に汚染した水を海に流出し続けています。

原発事故によって放出された人工放射性物質のひとつに、Sr-90があります。

Sr-90は、骨や歯に蓄積され、何十年もの長い間、身体から出ていきません。白血病や免疫不全を起こし、さまざまな病気の原因となります。

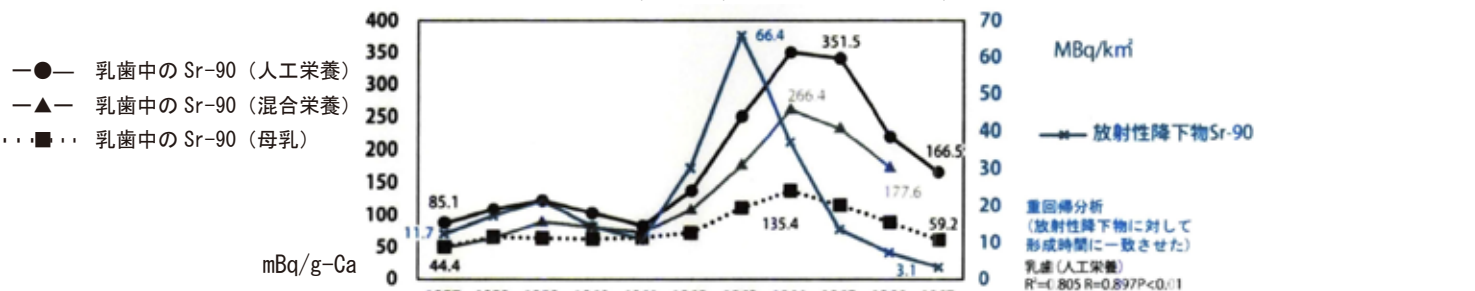
半世紀以上前、アメリカのお母さんや研究者たちは、乳歯中のSr-90の増加につれて、子どものがんや白血病が増えていることを明らかにし、大気圏内核実験を止めさせました。

「Strontium-90 in baby teeth as a factor in early childhood cancer(2000)」
 Jay M. Gould, Ernest J. Sternglass, Janette D. Sherman, Jerry Brown, William McDonnell, Joseph J. Mangano
 International Journal of Health Services
 Volume 30, Number 3, Pages 515-539,
 2000 Copyright Baywood Publishing Co., Inc



大気圏内核実験が盛んに行われるようになった1950年代、日本でも、Sr-90が日本各地でどれだけ降り注いだかが測定されました。同時に乳歯のSr-90も調べられ、乳児の栄養の違い[母乳、人工、混合(母乳と人工)]によって、乳歯のSr-90の蓄積量に差があることも明らかにされました。欧米諸国でも、同様の研究結果が得られています。

日本における放射性降下物Sr-90量と日本人乳歯のSr-90量(1957-1967年)
 第19回放射能調査研究抄録集(文部科学省)10(環境放射能データベース25)を改編

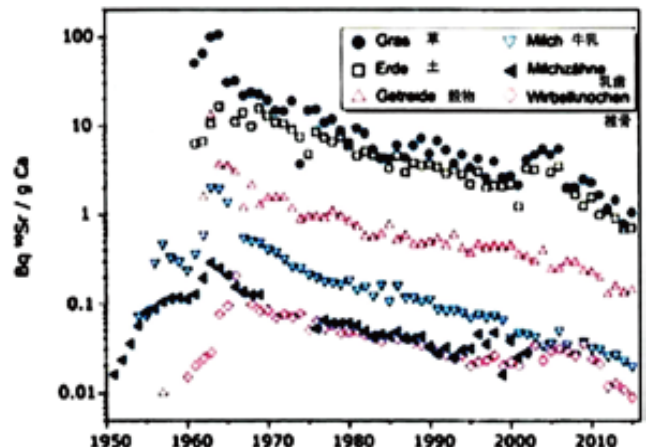


出典：「第22回日本臨床環境医学会学術集特集」(Vol. 22 No. 2, 2013)
 福島第一原発事故により放出された放射性核種(ストロンチウム、プルトニウム)のヒト乳歯への蓄積に関する研究
 井上一彦(鶴見大学歯学部探索歯学講座) 山口一郎(国立保健医療科学院 生活環境研究部)

スイス・バーゼル州立研究所では、1950年に乳歯に含まれるSr-90の測定が始められました。すでに66年間、途切れることなく測定が続けられてきました。

乳歯の他に、乳児用粉ミルクをはじめ各種食べものや土、草などに含まれるSr-90のデータが集積されています。

これだけ長期にわたってSr-90の測定を続けてきたのは、おそらくスイスだけです。



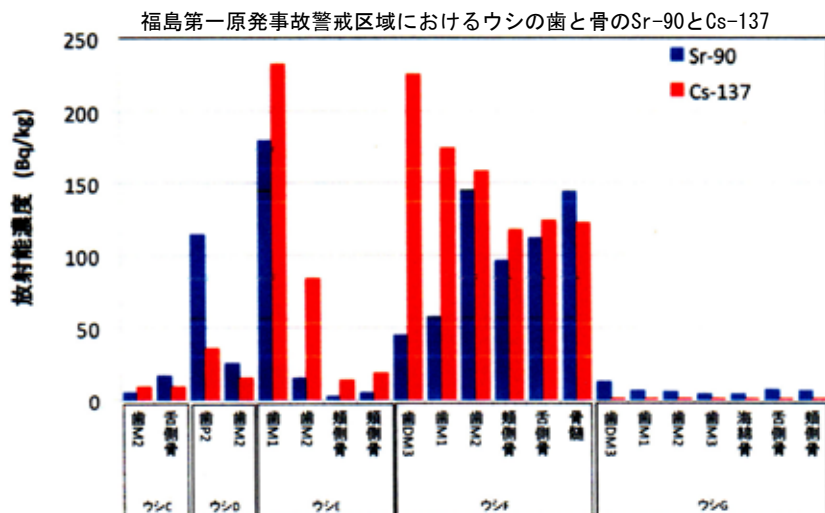
Figur 5:
 *Sr in verschiedenen, zwischen 1950 und 2015 entnommenen Proben (logarithmische Skala).
 1950-2015年スイス・バーゼル州立研究所における乳歯などのSr-90含有量の推移

3. 11東電福島原発大惨事後、東北大学の研究者は動物の乳歯や骨などに蓄積する人工放射性物質について調べ、ブタ、野生ネズミ、サルを調べ、とくに若い動物の歯にSr-90 が顕著に蓄積していることを明らかにしました。

その値は高濃度汚染地ほど高くなっています。

同じようなことがヒトにも起こっている可能性があり、そのことを私たちはたいへん心配しています。

ところが、そのSr-90の測定を、日本政府も「福島県県民健康調査検討委員会」も行っていません。同委員会では、乳歯を測定するよう提案がありましたが、まだ実現していません。



☆空間線量 5 μSv/h以下 5~10 μSv/h 10 μSv/h以上 岩手県内非汚染飼料のウシ
 ☆ウシCは老齢ウシ、その他のE・D・F・Gは若年ウシ

出典：二瓶英和(東北大理院) 博士論文 2013年
 「福島第一原子力発電所警戒区域内被災家畜の歯中の放射性ストロンチウムとセシウムの測定」

3. 11 原発大惨事が自然生活環境にまき散らした人工放射性物質を丁寧に調べ、放射線の健康影響がわかるようにすべきです。乳歯は、胎児や子どもの内部被ばくを知るうえで、きわめて重要な証拠となる試料です。乳歯の測定によって、Sr-90 がどのくらい体内に取り込まれているかがわかります。「乳歯保存ネットワークは全国のみなさんに、子どもたちの抜けた歯を「記録カード」と一緒に取っておきましょうと呼びかけています。

◆「株式会社」にする理由

大切なのは、予防原則です。

一次予防は、子どもたちをこれ以上被ばくさせないこと、環境や食生活への配慮・改善で今まで以上の蓄積を防ぐことです。流通する食品のSr-90 の濃度を調べ、汚染の少ない食品を摂ることができるようにしなければなりません。そのためには、政府と地方自治体が食品の安全を保障する社会的システムを組み上げるように、粘り強く働きかけなければなりません。

二次予防は、すでに核物質を取り込んでしまった子どもたちが病気にならないようにすることが大切です。精度の高い検診システムで、病気をはやく見つけ、適切な治療によって子どもたちのいのちを守ることです。

私たちは、まず東海地方で、年内に乳歯の測定ができるように準備中です。一人ひとりの乳歯に含まれるSr-90 が測定できるようにするのが目的です。そして、その経験を全国各地で利用してもらおうと考えています。

子どもたちの乳歯の測定や結果の解析、子どもたちの健康を守る事業には、多くの資金と長期間継続した活動が必要です。個々人が自分の意志で参加するための組織形態として、私たちは未来型非営利の株式会社を設立することにしました。その名を「はは」とします。

「乳歯保存ネットワーク」は、未来型非営利の「株式会社 はは」（略称「はは」の組織のひとつとして、活動を続けます。今まで通りのご支援をよろしくお願いいたします。

呼びかけ人はじめ賛同者のみなさま、

「はは」をどうぞよろしくお願いいたします。

2017年3月吉日

「乳歯保存ネットワーク」

E-mail: pdmn311@gmail.com

HP: http://pdmn311.jimdo.com